

## <白金標準、需給統計とスピノフの問題で高値追い・・・>



(出所：オアシス)

世界大手の銅鉱山会社 BHP は約 6 兆円でアングロ・アメリカに対して対等買収案を提示している。しかしアングロ・アメリカは提案を拒否するなど株価の時価総額では評価が低い事が示されている。特に問題なのは、BHP が提示した買収の条件に赤字が続くアングロ・アメリカ・プラチナと収益性が望めないクンバ鉄鉱石社のスピノフが条件とされている。スピノフは子会社を売却する事に等しく、赤字を続けリストラ策を提示しているアングロ・アメリカ・プラチナは事業縮小のリスクが強まり、年間プラチナ生産量 54 トンの供給に対するリスクが強まる状況である。特にこの買収提案は BHP が 22 日の期限までに正式オファーを提示するか注目され、22 日まではスピノフの問題でプラチナ価格は底堅い値動きに思える。また 5 月第 2 週はロンドン・プラチナ・ウィークの開催で JM 社が毎年プラチナレポートで需給報告を発表し、13 日は WPIC2024 年第 1 四半期 PGM 需給報告が予定されている。特に JM 社のプラチナレポート 2024 で供給不足が指摘される様であれば、スピノフの問題と合わせて強気の要因となり、4957 円に向けた値動きに移行すると思える。

### <テクニカル>

白金標準先物の日足を MACD と RCI で見た場合は、MACD では MACD は上昇が止まり、シグナルは切り下げ、RCI では短期が上昇し、長期は下げ止まりを見せている。特に日足が 10 日移動平均線を超え、10 日移動平均線も下げ止まるなど強気を示唆していると思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行ってください。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 2,445,000 円(2024 年 5 月 7 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 73,920 円(2024 年 5 月 7 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター  
<https://www.nisshokyo.or.jp>